

令和2年度 村岡中学校だより 1

令和2年4月9日発行

ふるさとを愛し、自他を大切にして、志高く未来を切り拓く生徒の育成

昨日4月8日、暖かな日差しに包まれ、桜が満開の中、34名の新入生を迎え、令和2年度入学式を挙行了いたしました。

式典の規模縮小という中で、式辞も大幅に減らしましたので、述べる予定だった式辞を掲載させていただきます。



山あいの豊かな自然に囲まれたこの村岡区にも、暖かな日差しを浴び、草花や木々が一斉に芽吹く春がやってきました。本日、ご多用の中、香美町教育委員 野村道彦様、本校PTA会長 田中裕一(ゆういち)様のご臨席を賜り、令和二年度香美町立村岡中学校入学式を挙行できますこと、心より感謝し、高いところからではございますが、厚くお礼申し上げます。

さて、三十四名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。職員一同、心から歓迎いたします。先ほどの呼名での返事やまっすぐな姿勢、そしてまなざしの中に、中学生としての自覚と「頑張ろう」という強い意気込みを感じました。たいへん心強く思っています。中学校の三年間は、体・心・知識の面で大きく伸びる時期です。一日でも早く学校生活に慣れ、充実した毎日を送って欲しいと願っています。

ところで、世界は今、新型コロナウイルス感染症への対策・対応に追われています。本校においても、卒業式・入学式の縮小、手指消毒の徹底、マスク着用の呼びかけ等、対策を講じているところですが、状況は日々変化し続けています。この新型コロナウイルスへの対応だけでなく、急激に変化し続ける現代社会においては、主体的に判断し、自ら答えを導く思考力・判断力・表現力等を身につけることが必要です。

そこで、新入生の皆さんに、中学校生活をより有意義にさせていただくために、三つのお願いをします。

一つ目は、命を大切にすることです。言うまでもなく一人一人の命は、かけがえのない尊いものです。当然、自分の命だけでなく他人の命も大切にしてください。そのためにも相手の気持ちを尊重し、いじめを許さない学校風土を創り上げて行きましょう。

二つ目は、あいさつです。私たちは、家庭・地域・学校、それぞれの場面で、多くの人と関わりながら生きています。その最初に交わすのがあいさつです。そのあいさつが、さわやかに元気よく出来れば、その後も何か良いことにつながると思いませんか。香美町も三つの町民運動の一つに「あいさつ」を掲げています。積極的に取り組んで下さい。

三つ目は、続けるということです。これは簡単そうでなかなか出来ません。明らかな結果が出れば次への意欲となってまたやろう、続けようという気持ちにもなりますが、そんなことばかりではありません。むしろ大切なことには、しんどいことが多いものです。

メジャーリーグでも活躍した松井秀喜さんは、高校時代の恩師、山下監督の「心が変われば行動が変わる 行動が変われば習慣が変わる 習慣が変われば人格が変わる 人格が変われば運命が変わる」という言葉が、年齢を重ねるにつれて、少しずつ理解出来るようになってきた、と語っています。この村岡中学校入学を機に、今お願いした3つを柱に、気持ちを切り換えて見て下さい。そうすればこの言葉のように、行動が変わり、習慣が変わり、運命を切り拓いていけるのではないのでしょうか。

終わりにになりましたが、保護者の皆さまにひと言申し上げます。本日はお子様のご入学、誠にありがとうございます。本日より、大切なお子様を三年間お預かり致します。村岡中学校では、めざす生徒像に、「目と心で気持ちのよいあいさつ、返事が出来る」「自ら学び、深く考える」「自他を思いやり、夢や希望の実現に向けて挑戦する」「ふるさと村岡に学び、愛し、語れる」を掲げ、全職員が一丸となって、全力で教育活動に取り組んでまいります。冒頭にも述べましたが、中学校の三年間は、体・心・知識の面で大きく伸びる時期であると同時に、大きな悩みや迷いを持つ時期でもあります。どうか、お子様の支えになっていただくと同時に、本校教育活動へのご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます、令和二年度入学式の式辞といたします。

令和二年 四月 八日

香美町立村岡中学校長 中島保男

続いて、新入生「誓いの言葉」と在校生「歓迎の言葉」を紹介します。それぞれの代表が、内容もよく覚え、しっかりと役割を果たしてくれました。全校生徒104名となります。22名の教職員と合わせ総勢126名、素晴らしい村岡中学校を創っていきますので、保護者・地域の皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

誓いの言葉

暖かな春の陽射しが、心地よいこの良き日。私たち34名は、新しく始まる中学校生活に、夢と希望を持って、村岡中学校に入学しました。

小学校で学んだ「大きな声であいさつと返事をする事」「ふるさとを愛し、学び続ける事」「自分からやる事」を大切に、相手を敬う心を忘れず、ともに伸びていけるように、がんばります。

私たち新入生は、村岡中学校の生徒としてプライドと笑顔を忘れず、大きな目標に向かって進みます。楽しいことだけでなく、高い壁が立ちはだかるときもあると思いますが、みんなで支え合えるような、あたたかい仲間づくりをし、決してあきらめず、困難を乗り越えていきます。先生方、先輩のみなさん、どうぞよろしく願いいたします。

少しでも早く、誇りある村岡中学校の生徒になれるよう、感謝の心を持ち、一日一日を大切にしながら、自らを磨いていくことをここに誓います。

令和二年 四月八日

新入生代表 西村 息吹

歓迎の言葉

今年は例年になく暖かな冬でしたが、新型コロナウイルスの影響で心配な毎日をすごしました。

しかし本日、三十四名の新入生の皆さんを村岡中学校にお迎えすることができ、大変嬉しく思っています。ご入学おめでとうございます。

さて、ここでみなさんに中学校生活について少しお話ししたいと思います。

まず一つ目は、学習面です。中学校では、外国語活動が「英語」になります。そして算数が「数学」に、図工が「美術」と「技術」に変わります。教科は全部で九つになり、内容もより高度なものになってきます。また、それらの学習の成果を確かめる定期テストが学期ごとに2回行われます。ですから、毎日の宿題のほか、各教科の予習や復習がとても大切になってきます。自分で学習計画を立て、自主的に取り組まなければなりません。毎日少しずつ家庭学習を行う習慣を身につけましょう。

二つ目は、部活動です。どの部活動も一生懸命に声を出し練習したり、心をつ一つにして毎日頑張っています。心と体を鍛え、仲間とともに励まし合い、助け合いながら辿り着いた先には、言葉では言い表せない喜びがあります。どの部もみなさんの入部を心待ちにしています。

そのほか、中学校では、体育祭や文化祭などの学校行事があり、生徒会を中心に力を合わせて取り組んでいます。みんなが工夫し協力して一つのもので作り上げた時は、全校生で大きな感動と一体感を感じることが出来ます。また、私たちは『Now or Never -今できることを全力で-』を今年の生徒会のスローガンに掲げ、魅力的な学校づくりを目指していますのでぜひ色々なことに挑戦して下さい。

最後になりましたが、何か分からないことや、困ったことがあれば気軽に相談してください。私たちもみなさんの力になれるよう頑張ります。

それでは、新入生のみなさんの希望あふれる前途を願い、歓迎の言葉といたします。

令和二年 四月八日

在校生代表 中村宏聡

